

PICK UP!

AV資料コーナーからおすすめのDVDを紹介します。

DVD特集

らぶらすにはビデオ・DVDが揃っています。らぶらすの視聴覚ブースでご覧になれる他、貸出も可能です。(期間1週間)

■女子高生がジャズに挑戦
『スウィングガールズ』

東北の片田舎の落ちこぼれ女子高生がビッグバンド!? ジャズバンドに挑戦する女の子達の爽やかな姿に涙あり、笑いありの青春ストーリーです。

■ごほんからいい関係
『スープ・オペラ』

ひょんなことから始まった二人の男性との共同生活。色とりどりの料理、おいしいスープ、食事の楽しそうな風景に心が温まります。

■フラダンスで町を元気に
『フラガール』

炭鉱の町の危機をフラダンスで、救おうとするけなげでひたむきな女性達。フラダンスの迫力あり、家族の絆に胸打たれる感動のストーリーです。

■愛と憎しみの葛藤
『權』

緒形拳演じる岩伍の「力」と、十朱幸代演じる喜和の「意志」がぶつかり合う。大正から昭和初期を背景に、菊、綾子、染勇など主人公たちの娘世代を含め、女の意思を強く描いた80年代の傑作。



らぶらすAV資料コーナー

すてきな本と出会いたい!

らぶらす

ライブラリーニュース

Vol.2

春号

2013.2

らぶらす10階がリニューアル!
視聴覚ブースができました

らぶらす10階情報・交流コーナー内に、視聴覚ブースが新設されました。らぶらすで所蔵しているDVD、VHS資料を視聴することができます。「シネマdeりらくす」で上映した作品をはじめ、女性監督の作品や女性が活躍する作品など、一般のレンタルビデオ店とは一味変わった作品群をお楽しみください。

視聴覚ブースの利用方法

1. ご覧になりたい資料を選び、ケースを受付へお持ちください。
2. 貸出申込書にご記入のうえ、図書利用カードをご提示ください。
3. 資料を受け取り、視聴覚ブースでご覧ください。
4. 資料の視聴が終わりましたら、受付に資料をお持ちください。VHSビデオテープを視聴した場合は、テープの先頭まで巻き戻してください。

利用案内

らぶらす資料コーナーへようこそ!

らぶらす資料コーナーでは、およそ1万9千点の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録が可能です。1回につき3点まで、2週間の貸し出しが可能です(AV資料は1週間まで)。

らぶらす

開館時間

9:00-22:00

図書貸出時間

9:30-21:30

休館日：毎月第3日曜日
(祝日の場合はその翌日
及び年末年始)

世田谷区立男女共同参画センター

らぶらす

〒156-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール10階
Tel 03-5478-8022 Fax 03-5478-8026

らぶらす運営団体 NPO昭和 ホームページ www.npo-showa.net

毎月続々新着中

一冊によもうね

絵本・児童書

絵本や児童書も貸し出しています。
お子さんと一緒にどうぞ。『戦争していた国のおらが里』
酒井きみ子著/桂書房

昭和3年生まれの女性が克明に描きつづけた戦時下の農村の暮らし。その自然にそった生き方に、感じるのは郷愁だけではないでしょう。

『せかいいちうつくしいほくの村』
小林豊著/ポプラ社

春、花につつまれるアフガニスタンの美しい村。戦争の中でも明るくたくましく生きる人々が描かれています。

よみもの

『烈しい生と美しい死を』

瀬戸内寂聴 著
新潮社



100年前、「原始女性は太陽だった」という言葉で始まる、女性だけの文芸雑誌「青鞥」が創刊された。古い因習と闘い、烈しい恋と革命に生きて、潔く美しい死を選んだ女性たちがその担い手でした。平塚らいてう、岡本かの子、伊藤野枝、菅野須賀子…彼女たちの烈しく生きた道に、自らの波瀾万丈の人生を重ね合わせて、女性として、自らの意志に正直に強く生き抜く姿を90歳の著者が描いています。

エッセイ

『「そこそこ」でいきましょう』

岸本葉子 著
中央公論新社



共感してしまったこのタイトル！ 中身もさうならぬ！ 想定外のハプニングを少しの要領で「気持ち転換」してくれるかも知れない言葉「そこそこ」でいきましょう。日常生活を描くユーモア・エッセイ集。開いたページからすんなりと読めてしまう。この本の魅力の原点は著書の経験と言葉が私たちの生活にもリンクしているからなのでしょう。どの文章が心に響くかは読み手の自由なところが好いですね。

男性

『「ヒキタさん！ご懐妊ですよ』』

ヒキタクニオ 著
光文社



「冒険的人生」を送ってきた著者ヒキタクニオ氏が、5年間に及ぶ不妊治療の体験を男性側の視点から綴った作品です。女性の問題として取り上げられる事の多い不妊治療ですが、男性不妊について語られるのは、まだめづらしい事です。ハードな不妊治療を「懐妊トレーニング」と言い換えて、負担の多い妻と心を合わせて挑んだ5年間の軌跡を読むと、生命の神秘と尊さをしみじみと感じます。

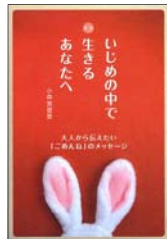
社会

『女たちが動く』

みやぎの女性支援を記録する会 編著
生活思想社



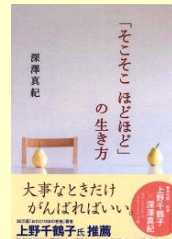
東日本大震災直後、避難所生活を送る被災女性たちは女性であるが故の悩みやストレス、性別役割分業の負担を抱えながらも要望や不満を口に出すことができなかった。そんな中、宮城の被災女性たちが被災女性たちのために動き出す。女性の視点からのきめ細やかな支援と聞き取りの結果、これまで見えなかった被災者のニーズが浮かび上がってきた。支援のあり方を考えさせる一冊です。



『いじめの中で生きるあなたへ』

小森美登里 著
WAVE出版

自ら命を絶った娘、香澄さんの教えてくれたメッセージ。



『「そこそこ」ほどほどの生き方』

深沢真紀 著
中経出版

いざという時にどれだけ頑張れるかは、普段のメンテナンス次第。



『喪男の社会学入門』

カラスヤサトシ 著
講談社

喪男（もだん）とはモテない男と近代のこと。



『国際比較の視点から日本のワーク・ライフ・バランスを考える』

武石恵美子 編著
ミネルヴァ書房

仕事と生活の調和について考えよう。



『はじまりは「マイ・フェア・レディ」』

有吉玉青 著
小学館

忘れていませんか？ 自由に愉しみ、素直に感動するブレない心。



『私が泣かない理由』

中村仁美 著
幻冬舎

おもてなしの心で、働く私もお客様も幸せに。



『儒教と負け犬』

酒井順子 著
講談社

東京、ソウル、上海で進む晩婚化は儒教の影響?! 負け犬論争に新解釈。



『フェミニズムの時代を生きて』

西川祐子 著
岩波書店

フェミニズムの担い手が語る自分史を、背景や環境と共に検証する鼎談集。